

ツインリンクもてぎ 開業20周年

ワクワクがいっぱいのテーマパークを目指し、 開業当初からのテーマ“人、自然、モビリティの融合”を追究

1. 2018年春、森をテーマに生まれ変わるモビパークについて
2. MotoGP™日本グランプリの開催契約延長について

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)は、2017年8月1日で開業20周年を迎えました。1997年8月1日、広大な森の中に日本初のオーバルコースとロードコースを併せ持つレーシングコース、ツインリンクもてぎが誕生。人、自然、モビリティの融合をテーマに、広大な森の中に造られたレーシングコースで開催されるモータースポーツ、森の中で楽しむ様々なアクティビティ、子どものチャンレンジする気持ちを高めるオリジナリティ溢れるアトラクションなど、そのこだわりは20年間変わることなく続いています。

開業直後の9月には国内最高峰の自動車レース、「フォーミュラ・ニッポン」(現在のスーパーフォーミュラ)を開催し、今年で21年連続の開催となります。1999年からはバイクレースの世界最高峰「MotoGP™」(当時はWGP)、2000年からは自然を舞台とした「トライアル世界選手権」をそれぞれ開催しております。一方で2000年には広大な森の一部を里山として整備し、お子様から大人までが気軽に自然と触れ合える「ハローウッズ」をオープン。さらに、2003年からスタートした、ゆうえんち「モビパーク」は、チャレンジ要素を盛り込んだオリジナルのアトラクション展開にこだわってきました。

2018年、ファミリーで楽しめるモビパークは森をテーマに生まれ変わり、大型の新アトラクションが登場します。そして2023年まで開催が決定したフラッグシップレースMotoGP™を中心としたモータースポーツも一体となり、ツインリンクもてぎはさらなるワクワクを提供し続けていきます。



2023年までの開催が決定したMotoGP™日本グランプリ
※写真は2016年日本グランプリのスタートシーン



森をテーマに生まれ変わるモビパーク
※写真はツインリンクもてぎの森の中に立つ高さ18mの樹冠タワー

ツインリンクもてぎ 2013年からの進化

ツインリンクもてぎは、近年では毎年新アトラクションの導入や宿泊施設を充実化することでファミリーが滞在して楽しめるリゾート型のテーマパークへと進化を続けております。同時にモータースポーツの観戦環境向上にも注力し、“滞在して楽しむ”という新たな観戦スタイルの定着を図っております。

2013年、森の中から、レーシングコースを一望できる場所まで空中散歩を楽しめる「メガジップラインつばさ」が誕生。森とモータースポーツをつなぐ象徴的なアトラクションとしてお子様から大人まで多くの方にご利用いただいております。

2014年には森の中でお子様が伸び伸びと遊べる「遊びの森」をオープン。観戦環境では、MotoGP™、SUPER GTなど秋のビッグレース時にはメインストレートを間近で観戦できるビクトリースタンドを設置。そして、年末にはホテルに大浴場「のぞみの湯」を新設しました。

2015年は、MotoGP™を開催するツインリンクもてぎならではの小学3年生から楽しめるバイクアトラクション「モトレーサー」が誕生。

2016年にはホテルのレストランを森をテーマにリニューアルし、「森のレストランMARCHERANT(マルシェラン)」をオープン。さらにオートキャンプ場は話題のグランピングを備えた「森と星空のキャンプヴィレージ」へとリニューアル。翌2017年には、より大勢でゆったり楽しめるグランピング・ワイドも加わりました。

2017年は、遊びながら森の生態系を学ぶことができる5階建ての立体迷路、「迷宮森殿 ITADAKI」が誕生。さらにMotoGP™では、眺めが良く人気観戦エリアのV字コーナー席に大型ビジョンを設け、指定席とすることで観戦環境を向上させます。その他にも場内には車中泊エリア、キャンプエリアを設け、ファン同士が集まって語らう欧米のような観戦スタイルの定着を目指していきます。

2013年


メガジップライン つばさ

2014年


遊びの森

2015年


モトレーサー

2016年


森のレストラン マルシェラン

2017年


迷宮森殿 ITADAKI

宿泊関連施設の進化



のぞみの湯



森と星空のキャンプヴィレージ



グランピング・ワイド

観戦環境の進化



ビクトリースタンド



場内滞在型の観戦スタイル



大型ビジョン設置のV字コーナー席

株式会社モビリティランド

 東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6430 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
 ツインリンクもてぎ 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 TEL(0285)64-0001 FAX(0285)64-0099 URL http://www.twinring.jp/

2018年春、モビパークは森をテーマに新生 大型の新アトラクションも登場！

全力で登れ！キミのドキドキが聴こえてくる 「森感覚(しんかんかく)アスレチック DOKIDOKI」 2018年春オープン(予定)

20周年を迎え、さらなるワクワクを追求するツインリンクもてぎでは2018年春、森をテーマにゆうえんち「モビパーク」が生まれ変わります。その象徴として“森の生まれ変わり”(萌芽更新)をテーマとした新アトラクション「森感覚(しんかんかく)アスレチック DOKIDOKI」を来春オープン(予定)いたします。



「森感覚アスレチック DOKIDOKI」の完成イメージ



ボルダリングの要素を取り入れ、木登りを体感

「森感覚アスレチック DOKIDOKI」は、森の中で木登りやクライミングを体験しているような感覚で楽しめる、これまでにない空中アスレチックです。随所にボルダリングの要素を取り入れ、「登る」ことを中心とした様々なアスレチックで遊びながら“森の生まれ変わり”を体感できるアトラクションとなります。頂上では、その達成感とともに広大な森の景色を眺めることができ、都会では決して味わうことのできない感動と興奮が「森感覚アスレチック DOKIDOKI」の大きな魅力です。

また、お子様がドキドキしながら登る姿を撮影できる絶好のポイントを設定し、頑張る姿を収めた写真とともに最高の思い出を持ち帰っていただきます。

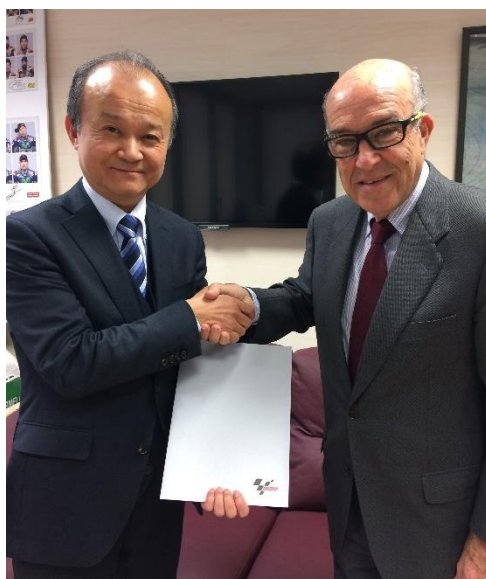
【概要】

名称： 森感覚アスレチック DOKIDOKI(しんかんかくアスレチック ドキドキ)
 場所： モビパーク内
 高さ： 約13m
 所要時間： 約30分
 オープン日： 2018年春 予定

MotoGP™日本グランプリの開催契約延長について

MotoGP™世界選手権シリーズを統括するドルナススポーツ社（CEOカルメロ・エスペレータ氏）と、同シリーズの日本グランプリを主催、運営する株式会社モビリティランド（取締役社長山下晋）は本日、ツインリンクもてぎで開催されている「ツインリンクもてぎ2&4レース」の会場において、2019年から2023年までの開催契約を締結したことを発表した。

ツインリンクもてぎでは、1999年の初開催以来18年連続で本大会を開催しており、今年は10月13～15日に開催される。



ドルナススポーツ社CEOカルメロ・エスペレータ氏

「ツインリンクもてぎの20周年を祝う場所で、新たな契約の発表が出来ることを心から嬉しく思います。ツインリンクもてぎはHondaのホームコースであり、さらに日本グランプリはヤマハ、スズキなどMotoGPの中心となるメーカーにとってもホームグランプリであることから、チャンピオンシップの中でも、もっとも重要な大会の一つと言えます。この大会を継続的に開催することで、我々はモビリティランドとともにMotoGPシリーズの価値をさらに高めていきたいと考えています」

株式会社モビリティランド取締役社長山下晋

「ツインリンクもてぎ20周年の節目となる年に、フラッグシップレースであるMotoGP日本グランプリの継続開催を発表できることを、主催者として大変嬉しく思います」

日本グランプリを継続して開催することは、レースを楽しみにご来場いただくファンの皆様にとってはもちろん、このレースに関わるメーカーの皆様にとっても大変重要であると考えています。厳しい環境ではありますが、このステージを安定的に提供することで、モーターサイクルスポーツ文化の発展に寄与していきたいと考えています。この度、日本開催の重要性を理解し、延長契約に向け力強いサポートをしてくれたドルナススポーツ社に感謝いたします」